

# 2019年度(2020年3月期) 決算説明資料

IHI

2020年5月19日

株式会社 IHI



# 目次

## 1. 2019年度 連結決算

連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	4
報告セグメント別内訳.....	5
営業外損益.....	8
特別損益.....	9
連結貸借対照表.....	10
連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
補足資料.....	12

## 2. 2020年度 連結業績見通し

今後の見通し.....	15
-------------	----

## 3. 報告セグメント別の概況

資源・エネルギー・環境.....	17
社会基盤・海洋.....	19
産業システム・汎用機械.....	21
航空・宇宙・防衛.....	23

<参考資料>.....	25
-------------	----

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

# 1. 2019年度 連結決算

# 1. 2019年度 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

2019年度 売上平均レート(米ドル) 109.16円

2020年2月6日公表 業績予想

(億円)

	2018年度	2019年度	増 減	
受 注 高	13,992	14,000 13,739	▲ 261	▲ 252
売 上 高	14,834	14,000 13,865	▲ 135	▲ 969
営 業 利 益	824	600 607	7	▲ 216
経 常 利 益	657	340 322	▲ 18	▲ 334
税金等調整前 当期純利益	694	387		▲ 306
親会社株主に帰属する 当期純利益	398	160 128	▲ 32	▲ 270

# 1. 2019年度 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

2020年2月6日公表 業績予想

(億円)

	受注高			受注残高		
	2018年度	2019年度	増減	2018年度	2019年度	増減
資源・エネルギー・環境	2,855	3,169	▲231	5,231	5,212	▲19
社会基盤・海洋	1,244	1,969	169	1,916	2,296	379
産業システム・汎用機械	4,589	4,201	▲199	1,803	1,908	104
航空・宇宙・防衛	4,943	4,201	1	5,626	4,936	▲689
報告セグメント計	13,632	13,541	▲259	14,578	14,354	▲223
その他	814	688	▲125	204	266	61
調整額	▲454	▲490	▲35	-	-	-
合計	13,992	13,739	▲261	14,782	14,620	▲162
海外受注高・受注残高	6,485	6,913	427	5,798	6,055	256
海外受注高・受注残高比率	46%	50%	4%	39%	41%	2%

# 1. 2019年度 連結決算 報告セグメント別内訳(売上高・営業利益)

2020年2月6日公表 業績予想

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018年度	2019年度	増減	2018年度	2019年度	増減
資源・エネルギー・環境	3,770	3,400 3,277	▲123 ▲493	33	60 47	▲13 13
社会基盤・海洋	1,431	1,700 1,528	▲172 96	142	150 134	▲16 ▲7
産業システム・汎用機械	4,410	4,200 4,064	▲136 ▲346	231	160 114	▲46 ▲116
航空・宇宙・防衛	4,922	4,400 4,808	408 ▲113	464	270 403	133 ▲61
報告セグメント計	14,535	13,700 13,679	▲21 ▲856	871	640 700	60 ▲171
その他	793	703	▲89	23	35	12
調整額	▲494	▲517	▲23	▲70	▲127	▲57
合計	14,834	14,000 13,865	▲135 ▲969	824	600 607	7 ▲216

海外売上高	7,135	6,630	▲505
海外売上高比率	48%	48%	0%

# 1. 2019年度 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前期比増減要因)

(億円)

	売上高の 増減	工事採算 の変動	為替の変動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー・環境	▲ 52	52	▲ 2	15	13
社会基盤・海洋	▲ 6	8	▲ 1	▲ 8	▲ 7
産業システム・汎用機械	▲ 129	▲ 23		36	▲ 116
航空・宇宙・防衛	1	▲ 58	▲ 15	11	▲ 61
報告セグメント計	▲ 186	▲ 21	▲ 18	54	▲ 171
そ の 他		5		7	12
調 整 額		▲ 9		▲ 48	▲ 57
合 計	▲ 186	▲ 25	▲ 18	13	▲ 216

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

# 1. 2019年度 連結決算 営業外損益

(億円)

	2018年度	2019年度	増 減
金融収支	▲ 11	▲ 20	▲ 9
持分法による投資損益	41	▲ 129	▲ 170
為替差損益	0	▲ 20	▲ 20
その他	▲ 196	▲ 113	82
営業外損益	▲ 167	▲ 285	▲ 118

期末日レートの変動(米ドル) 2018年度 +4.75円 (期首106.24円→期末110.99円)  
2019年度 ▲2.16円 (期首110.99円→期末108.83円)



# 1. 2019年度 連結決算 特別損益

(億円)

	2018年度	2019年度	増 減
固定資産売却益	—	44	44
事業譲渡益	11	(※) 38	27
関係会社出資持分譲渡益	—	22	22
保険差益	—	11	11
関係会社株式売却益	41	2	▲ 39
特 別 利 益	53	117	64
投資有価証券評価損	—	▲ 48	▲ 48
減 損 損 失	▲ 16	▲ 4	11
特 別 損 失	▲ 16	▲ 52	▲ 36
特 別 損 益	36	65	28

(※) 知的財産権の譲渡によるものです。

# 1. 2019年度 連結決算 連結貸借対照表

(億円)

	2018年度末	2019年度末	増減
<b>資産合計</b>	<b>16,645</b>	<b>17,407</b>	<b>762</b>
(うち 現預金)	(949)	(1,472)	(522)
(うち 売上債権)	(3,776)	(4,038)	(261)
(うち 棚卸資産)	(4,419)	(4,455)	(36)
<b>負債合計</b>	<b>12,828</b>	<b>13,870</b>	<b>1,041</b>
(うち 仕入債務)	(2,900)	(2,625)	(▲ 274)
(うち 前受金)	(1,575)	(1,517)	(▲ 57)
(うち 有利子負債残高)	(3,550)	(4,881)	(1,330)
<b>純資産合計</b>	<b>3,816</b>	<b>3,537</b>	<b>▲ 279</b>
株主資本	3,434	3,292	▲ 142
その他の包括利益累計額	56	▲ 28	▲ 85
非支配株主持分等	325	273	▲ 51
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,645</b>	<b>17,407</b>	<b>762</b>
<b>D/Eレシオ (※1)</b>	<b>0.93倍</b>	<b>1.38倍</b>	<b>0.45倍</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>21.0%</b>	<b>18.7%</b>	<b>▲ 2.2%</b>
<b>ROIC (※2)</b>	<b>8.7%</b>	<b>5.7%</b>	<b>▲ 3.0%</b>

有利子負債残高には、リース債務残高(2018年度末:174億円, 2019年度末:273億円)を含んでいます。

(※1) D/Eレシオ=有利子負債/純資産

(※2) ROIC(投下資本利益率)=税引後(営業利益+受取利息・配当金)/(自己資本+有利子負債)

# 1. 2019年度 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2018年度	2019年度	増 減
営業キャッシュ・フロー	464	145	▲ 318
投資キャッシュ・フロー	▲ 792	▲ 758	33
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 328	▲ 613	▲ 285
財務キャッシュ・フロー	164	1,152	988

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費 (億円)

	2018年度	2019年度
研究開発費	365	381
設備投資額	743	806
減価償却費	480	538

設備投資額、減価償却費は、有形固定資産およびソフトウェアに係る金額を示しています。  
(2018年度まで有形固定資産に係る金額で開示していたため、2018年度の数値を変更しています)

(2) 海外売上高 (億円)

	2018年度	2019年度
ア ジ ア	1,454	1,238
中 国	1,146	906
北 米	3,270	3,646
中 南 米	121	90
欧 州	1,022	686
そ の 他	119	63
合 計	7,135	6,630
海外売上高比率	48%	48%

(3) 報告セグメント別内訳 資産残高

(億円)

	資 産 残 高		
	2018年度末	2019年度末	増 減
資源・エネルギー・環境	2,926	2,918	▲ 8
社会基盤・海洋	2,313	2,376	63
産業システム・汎用機械	3,556	3,417	▲ 138
航空・宇宙・防衛	5,695	6,210	514
報告セグメント計	14,492	14,922	430
その他	1,017	1,051	34
調整額	1,135	1,433	297
合計	16,645	17,407	762

## 2. 2020年度 連結業績見通し

### 2020年度 業績見通しの公表について

- 現時点で、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから、2020年度の業績見通しは「未定」とし、公表を見送り
- 今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表を予定

### 3. 報告セグメント別の概況

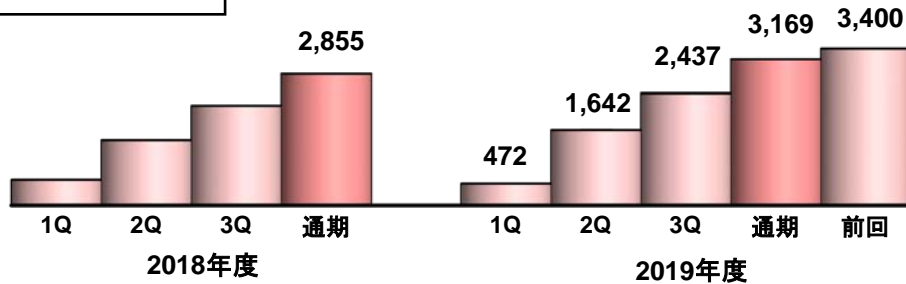


### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

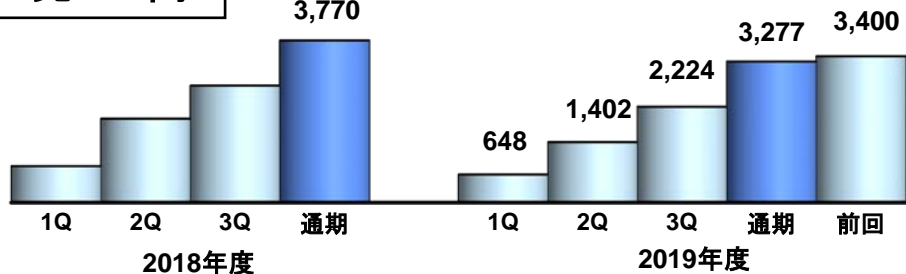
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2020年2月6日公表の業績予想数値

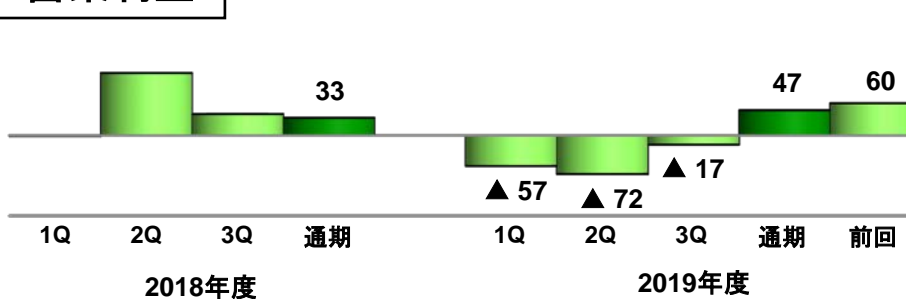
#### 受注高



#### 売上高



#### 営業利益



主要事業: 原動機, ボイラ, プラント, 原子力

#### <対前期 増減内訳>

##### 【受注高】

プラントで減少したものの、ボイラで海外向け大型案件を受注したことで、増加しました。

##### 【売上高】

ボイラで工事進捗遅れによる減収、プラントで前期に大型プロジェクトが進捗した反動で減収となりました。

##### 【営業利益】

ボイラでの減収の影響や原動機での工事下振れはあったものの、プラントでの前期の採算悪化が収束してきた影響により増益となりました。

#### <対前回見通し 増減内訳>

受注高はプラント、原動機で減少となりました。

売上高、営業利益は、原動機で減収、減益となりました。

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高		売上高							
	'18年度	'19年度	'18年度				'19年度			
	通期	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
原 動 機	828	826	179	422	632	934	179	360	534	861
ボ イ ラ	797	956	270	697	945	1,215	168	448	702	984
プ ラ ン ト	564	321	230	458	595	801	138	266	392	564
原 子 力	305	362	50	120	167	331	48	89	135	279

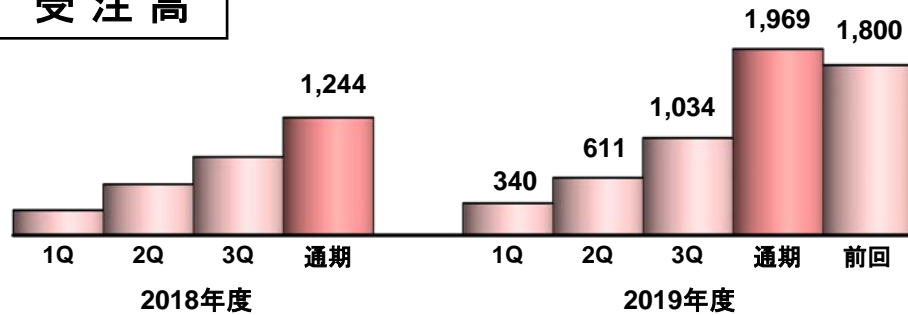
### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

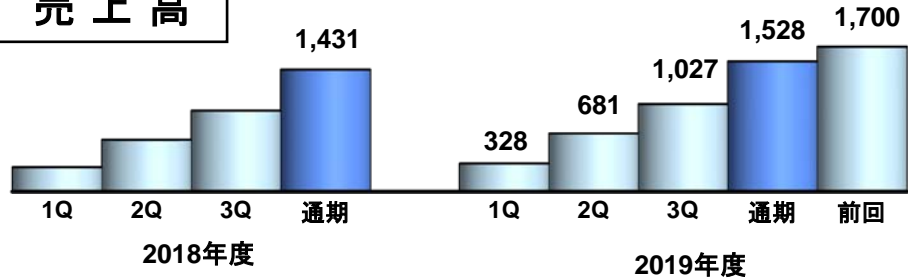
前回: 2020年2月6日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, 交通システム, シールドシステム,  
コンクリート建材, 都市開発

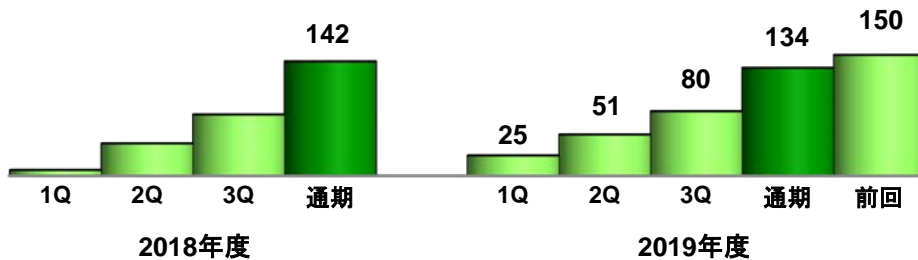
#### 受注高



#### 売上高



#### 営業利益



#### <対前期 増減内訳>

##### 【受注高】

橋梁・水門で海外向け大型案件を受注したことで、増加しました。

##### 【売上高】

シールドシステムで減収となったものの、橋梁・水門で増収となりました。

##### 【営業利益】

交通システムで増益となったものの、シールドシステムで減収により減益となりました。

#### <対前回見通し 増減内訳>

受注高は交通システムは減少したものの、橋梁・水門で増加しました。

売上高は橋梁・水門, シールドシステムで減収となり、営業利益は橋梁・水門で減益となりました。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高		売上高							
	'18年度	'19年度	'18年度				'19年度			
	通期	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
橋 梁 ・ 水 門	650	1,111	152	301	462	720	192	382	575	835
シールドシステム	144	236	40	97	146	185	46	97	120	155
都 市 開 発	163	165	37	79	119	163	39	79	118	165

※「都市開発」の豊洲地区関連情報は、P32、P33の<参考資料>をご覧ください。

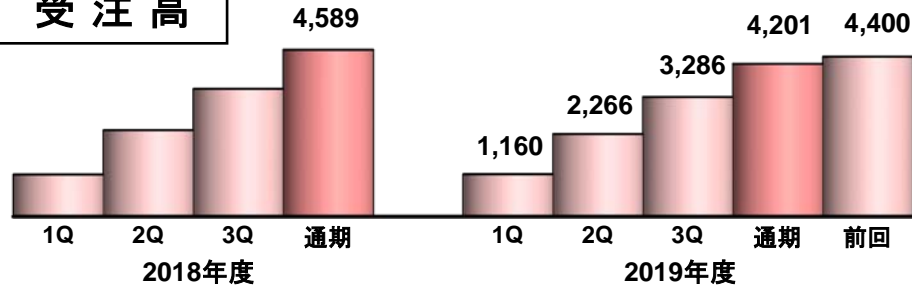
### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

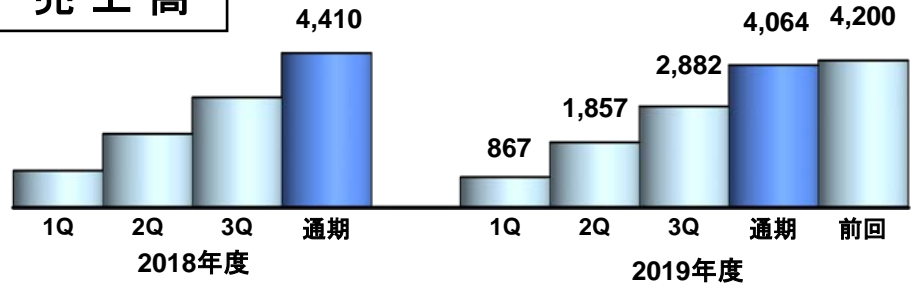
前回: 2020年2月6日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械, 熱・表面処理,  
運搬機械, 物流・産業システム, 農機

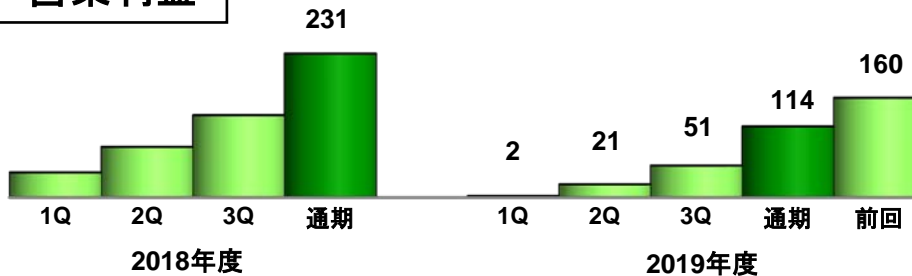
#### 受注高



#### 売上高



#### 営業利益



#### <対前期 増減内訳>

##### 【受注高】

運搬機械は大型案件を受注したことで増加したものの、車両過給機や熱・表面処理が減少したことで、減少となりました。

##### 【売上高】

車両過給機, 熱・表面処理で減収となったほか, 小型原動機事業を譲渡した影響により, 減収となりました。

#### <車両過給機の販売台数> (万台)

販売年度	通期
2018年度	676
2019年度	600

##### 【営業利益】

車両過給機や熱・表面処理の減収の影響により減益となりました。

#### <対前回見通し 増減内訳>

受注高は物流・産業システムで減少となりました。  
売上高は車両過給機, 物流・産業システムで減収となり,  
営業利益は車両過給機, 回転機械で減益となりました。

### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高		売上高							
	'18年度	'19年度	'18年度				'19年度			
	通期	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
車両過給機	1,902	1,555	516	993	1,436	1,895	387	767	1,188	1,557
パーキング	525	534	77	179	294	497	100	220	339	530
回転機械	513	513	106	215	327	495	104	211	335	490
熱・表面処理	413	322	111	210	311	416	98	197	291	377
運搬機械	332	612	50	79	137	239	37	92	177	290

※「車両過給機」の'18年度3Q累計の数値は、4Qに実施した内部取引調整を3Qに織り込んで表示しています。

※「車両過給機」の詳細は、P31の<参考資料>をご覧ください。

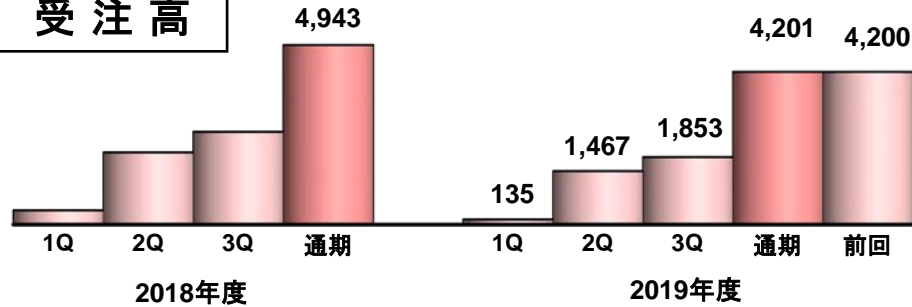
### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

前回: 2020年2月6日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用, 防衛機器システム

#### 受注高



#### <対前期 増減内訳>

##### 【受注高】

防衛省向け航空エンジン, 民間向け航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用で減少しました。

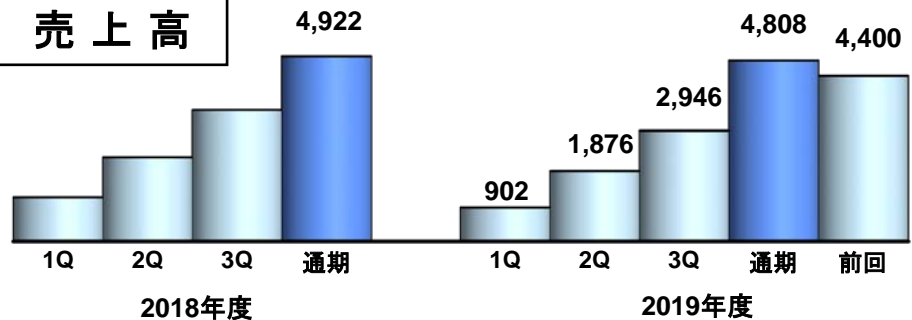
##### 【売上高】

防衛省向け航空エンジンで減収となりました。

<民間向け航空エンジンの販売台数> (台)

販売年度	通期
2018年度	1,521
2019年度	1,571

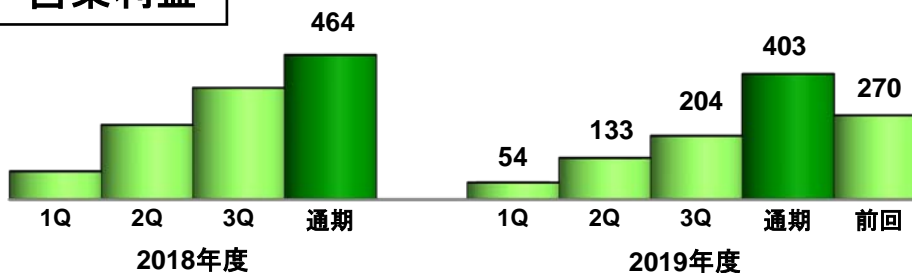
#### 売上高



##### 【営業利益】

民間向け航空エンジンで, 新型エンジンのコストダウン活動の成果は表れてきているものの, 整備事業の検査プロセス厳格化による影響や, プログラム費用の追加負担の影響等により, 減益となりました。

#### 営業利益



#### <対前回見通し 増減内訳>

売上高, 営業利益は, 民間航空エンジンで増収, 増益となりました。

なお, 民間向け航空エンジンについては, 当社が参画しているエンジンプログラムに関する売上情報を早期に入手できるようになったことから, 従来1か月遅れで認識していた売上収益を, メインパートナーの販売のタイミングで計上することに変更しました。

### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高		売上高							
	'18年度	'19年度	'18年度				'19年度			
	通期	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
民間向け 航空エンジン	3,348	3,082	731	1,525	2,432	3,185	651	1,315	2,081	3,331

※「民間向け航空エンジン」の詳細は、P30の<参考資料>をご覧ください。



## <参考資料>

- ・業績の推移
- ・海外大型案件の進捗状況
- ・当第4四半期のトピックス
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	15,393億円	14,683億円	15,903億円	14,834億円	13,865億円
営業利益率 営業利益	1.4% 220億円	3.2% 473億円	4.5% 722億円	5.6% 824億円	4.4% 607億円
経常利益	97億円	220億円	214億円	657億円	322億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	15億円	52億円	82億円	398億円	128億円
ROIC (※1)	2.3%	5.0%	7.7%	8.7%	5.7%
CCC (※2)	97日	87日	83日	97日	120日
D/Eレシオ (※3)	1.12倍	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.38倍
ROE (※4)	0.5%	1.6%	2.6%	11.8%	3.8%
配当	3円/株 (中間3円, 期末0円)	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株式併合後)	70円/株 (中間30円, 期末40円)	50円/株 (中間30円, 期末20円)
為替レート	118.27円/\$	108.27円/\$	111.00円/\$	111.09円/\$	109.16円/\$

※1 : ROIC(投下資本利益率) = 税引後(営業利益 + 受取利息・配当金) / (自己資本 + 有利子負債)

※2 : CCC = 運転資本 / 売上高 × 365日

※3 : D/Eレシオ = 有利子負債 / 純資産

※4 : ROE(自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / (前期末・当期末平均 自己資本)

## エルバ天然ガス液化設備



完成予想図



2020年3月現在

### <主要工程>

- 2016年3月: 契約締結
- 2016年11月: FERC (米国連邦エネルギー規制委員会) の建設許可承認
- 2017年2月: No.1トレイン液化モジュール (MMLS) 到着開始
- 2019年9月: No.1トレイン 商業運転開始
- 2020年第2四半期内: プラント全体引き渡し

**MMLS:** Movable Modular Liquefaction System

液化トレインはプラント全体で10トレインあり、1トレインは79モジュールで構成

### <プロジェクト概要>

- ・契約内容: エルバ島 天然ガス液化設備のEPC契約
- ・建設地: 米国ジョージア州 チャタム郡 サバンナ エルバ島
- ・担当範囲: 年産約250万トンの液化設備の設計 (液化モジュールはお客さま支給), 建設, 試運転

### <進捗状況>

2020年3月末現在で、液化モジュール(MMLS) No.1~5 は商業運転中、MMLS No.6は運転調整中、MMLS No.7~10は試運転中。  
進捗は設計:100%, 調達:100%, 据付:99.5%, 試運転:90.2%, プロジェクト全体:98.9%。

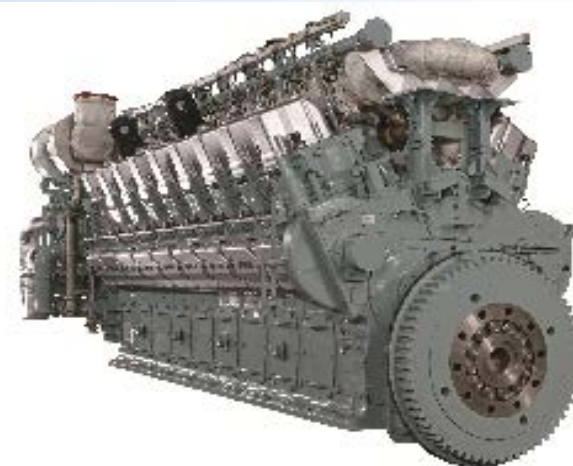
### <2020年4月23日時点の進捗状況>

MMLS No.	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10
Mechanical Completion	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
試運転開始 (進捗%)	○	○	○	○	○	○	○ (88.0%)	○ (81.1%)	○ (61.5%)	○ (52.1%)
商業運転開始	○	○	○	○	○	○				2020年 第2四半期内

## 横浜事業所に高効率なガスエンジン/バイナリーコジェネシステムを新設

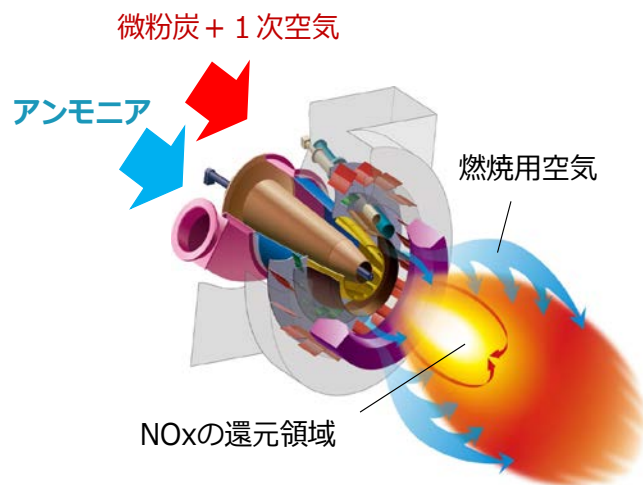
IHIは、防災性向上とCO2削減のため、同クラス最高効率のガスエンジンとその冷却水からの熱により発電するバイナリー発電機をパッケージにした高効率コジェネシステム(以下「本設備」)を設置します。本設備は、エネルギーマネジメントシステム(EMS)を設置し、本設備の運用データや事業所内の詳細な電力の使用量データの収集、見える化を実現することで省エネや需給最適化により将来一層のCO2削減を進めます。本設備の完成・運転開始は2021年4月予定です。

IHIは、高い防災性と環境性を備えたモデル事業所として横浜事業所を位置づけ横浜市・地域社会に貢献するとともに、CO2削減技術への取組みにより、引き続き「脱炭素社会の実現」に向けて取り組んでいきます。



<設置予定のガスエンジン「12V28AGS」(出力4000kW, (株)IHI原動機製)>

## 事業用火力発電所におけるアンモニア混焼の実証を目指した検討を開始



<アンモニア20%混焼時のイメージ>

IHIは、既設火力発電所から排出されるCO2の削減への取り組みの一つとして、アンモニア燃料の利用を目指しています。この度、事業用火力発電所において、アンモニア混焼に関する国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業に、株式会社JERA、丸紅株式会社およびWoodside Energy Ltd.とともに、共同で参画することといたしました。

IHIは、これら実証試験を通じ、アンモニアをはじめとする水素エネルギーの社会実装に向けた準備を進めると共に、再生エネルギーを利用したカーボンフリーのアンモニアの製造や、運搬・貯蔵・利用をつなぐ“水素・アンモニアバリューチェーン”の構築を通じて、脱CO2・循環型社会の早期実現を目指します。



## ミャンマー向け2橋梁新設・既設3橋梁解体工事および バングラデシュ バンガバンドウ橋(ジャムナ鉄道専用橋) 建設事業を連続受注

IHIのグループ会社である株式会社IHIインフラシステム(以下、IIS)は、以下の橋梁工事を受注いたしました。

- ミャンマー連邦共和国の建設省橋梁局から、「ジャイン・ザタピン橋」・「アラン橋」の新設工事および「ジャイン・コーカレー橋」を含む既設の3橋解体工事を受注。新設橋梁の完成は、2023年7月の予定。
- バングラデシュ人民共和国の鉄道省バングラデシュ国鉄から、IISと三井住友建設株式会社の共同企業体は、バンガバンドウシェークムジブル鉄道橋(ジャムナ鉄道専用橋) 建設事業の西側を受注。

IISは、多数の大型橋梁建設に携わり、豊富な経験を有しています。今後もより一層海外での橋梁受注活動を推進し、社会インフラの整備を通して各国の発展に貢献していきます。



<バンガバンドウ橋 完成予想図>

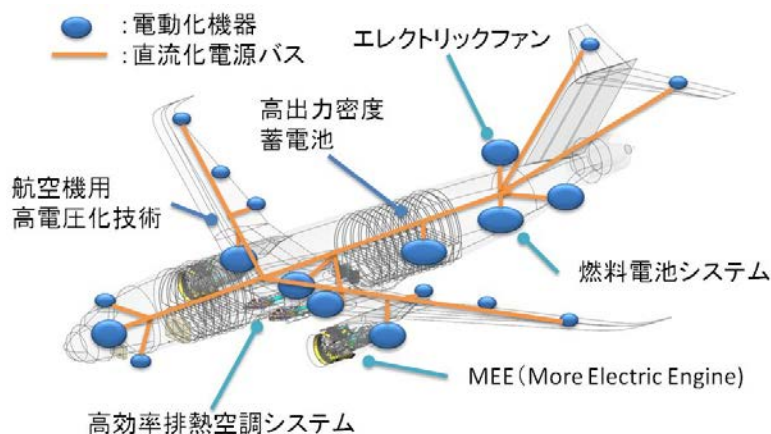
※出典:OC GLOBAL -長大-  
DDC Joint Venture



<ジャイン・ザタピン橋 完成予想図>

※出典:JICA

## 航空機のCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、航空機電動化技術を開発



<IHIが目指す2030年代の電動化システム>

IHIは、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、航空機を飛躍的に低燃費化する「航空機・エンジン電動化システム(以下、MEAAP)」の実現を目指し、様々な研究開発を推進しています。

MEAAPは、機器の単なる電動化に留まらず、従来有効利用されず機外に排出されている客室空気を機器の冷却に再利用するなど、エンジンを含む航空機全体のエネルギーマネジメント最適化を目指す技術です。

この実現に向けては、消費電力の増大に対応する電動機や、機器の発熱抑制などが大きな課題となっています。IHIは、このたび、エンジン後方に搭載できるエンジン内蔵型電動機(250kW級)、および、100kW級パワーエレクトロニクスの空冷システムを、世界で初めて開発しました。

2030年代のMEAAP実現を目指し、さらなる大出力化の検討など、今後も研究開発に取り組んでいきます。

## (1) 民間向け航空エンジン: 連結売上高推移

(億円)

	実績						
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
売上高	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	3,331

## (2) 民間向け航空エンジン: 累計販売台数

(台)

	実績(累計)									主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	142	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	

(注)販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なります。

## ＜地域別連結売上高推移＞

(億円)

	実績							
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
日 本	339	353	375	346	389	398	446	391
ア ジ ア	248	298	275	216	158	117	110	107
中 国	181	234	243	249	485	719	631	593
北 米	13	16	18	24	33	84	116	108
中 南 米	0	0	7	34	61	74	75	66
欧 州	432	602	756	743	617	811	513	289
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,557

## (1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績							
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94

## (2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
2019年度	94	40	34	20

## (3) 豊洲地区 賃貸用不動産の期末時価評価額等

(億円)

	連結貸借対照表計上額			期末時価	期末時価 - 期末残高
	期首残高	期中増減額	期末残高		
2019年度	535	23	558	2,036	1,477

(注) 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した金額です。  
期末時価は、社外の不動産鑑定士による不動産調査報告書に基づいて算定した金額です。



# 豊洲1~3丁目地区 開発マップ

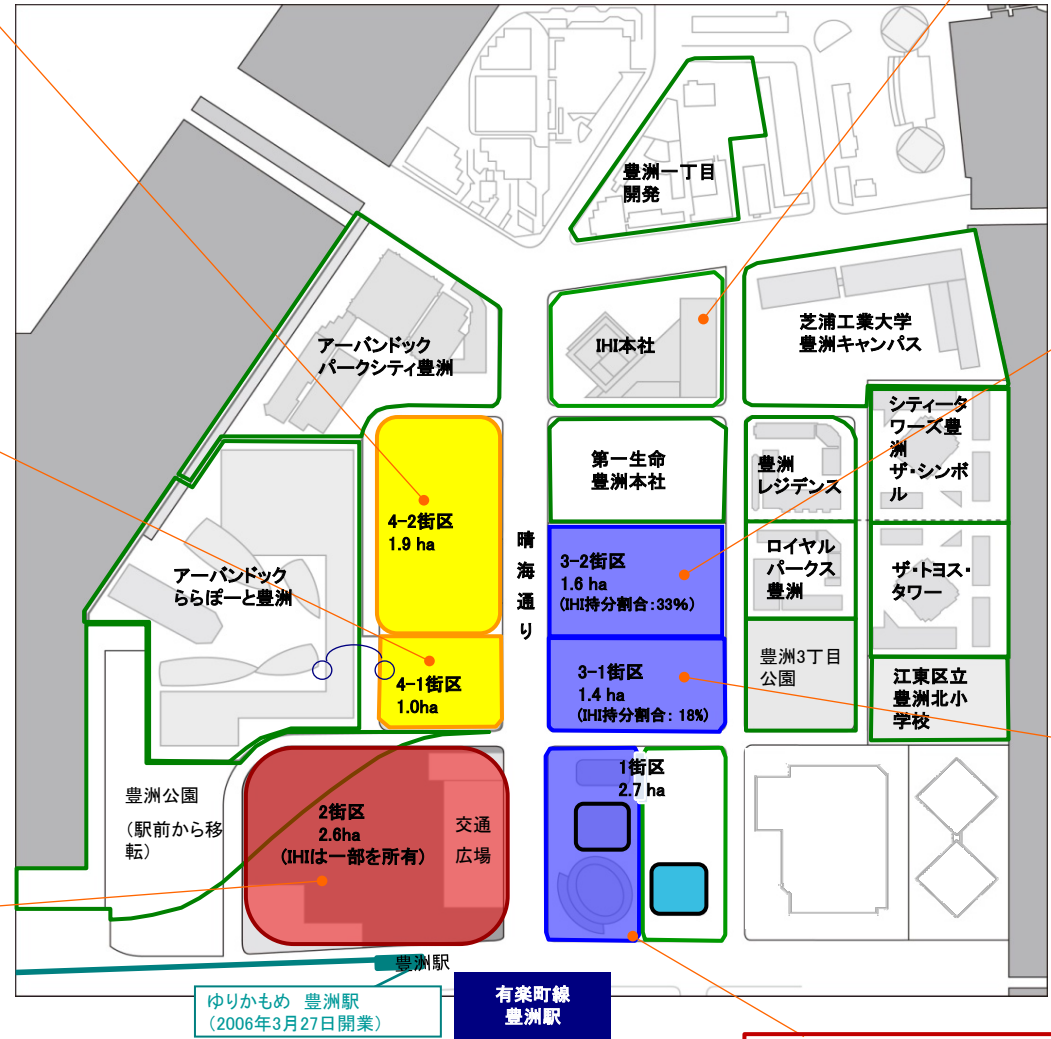
**幼稚園、保育園、カフェ、結婚式場**  
敷地面積：19,492㎡  
2010年3月～2011年2月竣工



**アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)**  
地上5F, 高さ約25m, 延床面積：24,721㎡  
2006年10月開業



**豊洲ベイサイドクロスタワー (AC棟) (IHI, 三井不動産)**  
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡  
2020年3月竣工

**豊洲IHIビル**  
地上25F, 高さ：約125m, 延床面積：97,617㎡  
2006年2月竣工



**豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所 (SPC))**  
地上16F, 高さ：約75m, 延床面積：101,503㎡  
2014年7月竣工




**豊洲フロント (IHI, 三菱地所 (SPC), 三菱UFJ信託銀行)**  
地上15F, 高さ：約75m, 延床面積：106,861㎡  
2010年8月竣工



**豊洲センタービル**  
地上37F, 高さ：約165m, 延床面積：100,069㎡  
1992年10月竣工

**豊洲センタービルアネックス**  
地上33F, 高さ：約150m, 延床面積：105,448㎡  
2006年8月竣工



シビックセンター棟：2015年9月開業  
消防署棟：2016年6月竣工

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

IHI所有地	約5ha
--------	------

※1 都市再開発法で定める手法の一つ

# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。